

しゃっちょうは行く!

47

Broaden your horizons④⑦ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、国立社会保障・人口問題研究所の西村周三所長とお話をしました。日本は、世界的な長寿国です。しかし、「自己申告健康比率」は、世界的に見ても下位に甘んじています。すなわち、「あなたは健康ですか?」と質問されたときに、日本人は、「〇〇の調子が悪くて健康ではない」と答える人が世界的に多いということです。もっと分かりやすく言いますと、海外の人は、「俺、健康さ!」とおっしゃりながら早くお亡くなりになられ、日本人は、「俺、病弱なんだ……」と言いながら長生きするのです。面白いですね。日本人の心配性で真面目な国民性の表れでしょうか。だからこそ、超長寿国なのだと思います。だからこそ、医療費も高くなるのだと思います。

長寿国を支えるためには、社会保障のあり方が重要になります。社会保障のあり方は、経済成長に左右されます。そう、税金です。不況と少子高齢化が進む中、経済成長に関しては「誤解」「諦め」「飽和感」が交錯し、適切な議論ができなくなっています。

10年前、年俸1,000万円を超えた人は10%もいました。しかし、団塊の世代が退職した現在、1,000万円を超える年俸をもらっている人は5%しかいなくなったそうです。日本経済の閉塞感を感じますね。薬剤師が、年俸1,000万円を超えることは難しいです。なぜなら、処方せん枚数につき薬剤師の人数が決まっているのですから、国から薬剤師の給与が決められているようなものです。では、どうすれば1,000万円の壁を超えることができるのでしょうか。それは、経営感覚を持つことです。マネージメント能力を持つことです。

メディセレは、2月に新大阪から大阪へ移転します。3月には名古屋校を開校します。そして、4月に薬局を開局します。そう、今、私の経営感覚は研ぎ澄まされています(頭はこんがらがってきていますが……苦笑)。この経験から学んだことを皆さんに伝え、共有し、薬剤師を1,000万円プレイヤーにしていきたいと思います。

目指せ、みんなで年俸1,000万円超え!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子